

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年5月15日

【四半期会計期間】 第5期第1四半期(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

【会社名】 株式会社Aiming

【英訳名】 Aiming Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 椎葉 忠志

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区代々木二丁目1番1号

【電話番号】 (03)5333-8424(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営管理グループゼネラルマネージャー 渡瀬 浩行

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区代々木二丁目1番1号

【電話番号】 (03)5333-8424(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営管理グループゼネラルマネージャー 渡瀬 浩行

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第5期 第1四半期 連結累計期間	第4期
	自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日	自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日
売上高 (千円)	3,243,039	6,527,520
経常利益 (千円)	1,250,537	340,131
四半期純利益又は当期純利益 (千円)	811,721	552,694
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	811,556	511,433
純資産額 (千円)	5,237,400	2,394,433
総資産額 (千円)	6,624,923	3,813,902
1株当たり四半期純利益金額又は当期純利益 (円)	27.32	19.09
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額又は当期純利益 (円)	25.14	
自己資本比率 (%)	79.1	62.8

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 当社は、前第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、第4期第1四半期連結累計期間に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀による各種経済・金融政策の推進によって円安・株高傾向が続き、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、海外経済への不安感や、消費税増税後の個人消費の低迷や物価上昇懸念等による消費税10%への増税が先送りされるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

スマートフォン向けビジネスを取り巻く環境につきましては、平成26年末時点で携帯電話契約数は1億4,505万件（前年同月比1.5%増）（社団法人電気通信事業者協会公表）、うちスマートフォン契約数は6,544万件（前年同月比22.8%増）（MM総研「2014年国内携帯電話端末出荷概況」平成27年2月公表）と順調に推移しており、当社グループが属するスマートフォンゲーム市場は引き続き成長を続けております。

このような状況のもと、当社グループは既存タイトルの拡充と新規タイトルの開発に注力してまいりました。

既存タイトルについては、主カタイトルの「剣と魔法のログレス いにしえの女神」は、平成26年12月から翌年1月にかけて注力したTVCMの効果などにより累計ダウンロード数を堅調に伸ばしており、平成26年12月末の520万ダウンロードから平成27年4月13日時点で600万ダウンロードに達しております。また、利用者に対するゲーム内でのイベント施策などによって売上高も好調に推移し、当社グループの業績を牽引しました。その他のタイトルでは、サービス開始から3年となる「Lord of Knights」やサービス開始から1年以上が経過した「VALIANT LEGION」、「幻塔戦記グリフォン」が前年同四半期売上高を上回る堅調な推移となり、収益基盤の確立に貢献しました。

新規タイトルの開発としては、MMOジャンルのゲームタイトルの自社開発を進めるとともに、海外からのゲームタイトルの調達に向けてリサーチと交渉を進めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績における売上高は、3,243百万円、営業利益は1,260百万円、経常利益は1,250百万円となり、四半期純利益は811百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,811百万円増加し、6,624百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加2,617百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ31百万円減少し、1,387百万円となりました。これは主として、未払法人税等の増加310百万円、短期借入金の減少60百万円、未払金の減少193百万円、未払消費税等の減少51百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,842百万円増加し、5,237百万円となりました。これは主として、資本金の増加1,015百万円及び資本準備金の増加1,015百万円、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加811百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、138,263千円であります。なお、当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の状況の重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成27年5月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	31,945,500	33,340,500	東京証券取引所 マザーズ	単元株式数は100株で あります。
計	31,945,500	33,340,500		

- (注) 1. 平成27年3月25日付で、当社株式は東京証券取引所マザーズ市場に上場しております。
2. 平成27年4月21日を払込期日とする、オーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当増資により、発行済株式数が840,000株増加しております。また、新株予約権の行使により、発行済株式数が555,000株増加しております。
3. 提出日現在発行数には、平成27年5月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年3月24日 (注)1.	2,400,000	31,105,500	1,015,680	2,475,687	1,015,680	2,465,687
平成27年1月1日～ 平成27年3月31日 (注)2.	50,000	31,945,500	25	2,475,712	25	2,465,712

(注) 1. 有償一般増資(ブックビルディング方式による募集)

発行価格 920円
払込金額 846.40円
資本組入額 423.20円

2. 新株予約権の行使による増加であります。

3. 平成27年4月21日を払込期日としてオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当増資により、発行済株式総数は840,000株増加して32,785,500株となり、資本金及び資本準備金がそれぞれ355,488千円増加しております。

4. 平成27年4月1日から平成27年4月30日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が555,000株増加して33,340,500株となり、資本金及び資本準備金がそれぞれ24,127千円増加しております。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 31,945,400	319,454	株主としての権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。また単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 100		
発行済株式総数	31,945,500		
総株主の議決権		319,454	

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成27年1月1日から平成27年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成27年1月1日から平成27年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3 最初に提出する四半期報告書の記載上の特例

当四半期報告書は「企業内容開示ガイドライン24の4の7-6」の規定に準じて、前年同四半期との対比は行っておりません。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,003,739	4,620,968
売掛金	1,247,155	1,489,128
貯蔵品	79	64
その他	290,323	203,361
流動資産合計	3,541,297	6,313,521
固定資産		
有形固定資産	29,451	34,748
無形固定資産	22,526	23,520
投資その他の資産	220,626	253,132
固定資産合計	272,604	311,401
資産合計	3,813,902	6,624,923

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	53,819	46,687
短期借入金	460,000	400,000
未払法人税等	65,432	375,663
賞与引当金	-	8,111
未払消費税等	226,290	174,682
その他	587,248	367,041
流動負債合計	1,392,789	1,372,186
固定負債		
長期未払金	26,678	15,336
固定負債合計	26,678	15,336
負債合計	1,419,468	1,387,523

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,460,007	2,475,712
資本剰余金	1,450,007	2,465,712
利益剰余金	522,274	289,447
株主資本合計	2,387,740	5,230,872
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,682	6,517
その他の包括利益累計額合計	6,682	6,517
少数株主持分	10	11
純資産合計	2,394,433	5,237,400
負債純資産合計	3,813,902	6,624,923

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	3,243,039
売上原価	253,592
売上総利益	2,989,446
販売費及び一般管理費	1,729,062
営業利益	1,260,383
営業外収益	
受取利息	211
受取手数料	326
その他	6
営業外収益合計	544
営業外費用	
支払利息	1,399
為替差損	635
株式交付費	8,313
その他	41
営業外費用合計	10,390
経常利益	1,250,537
税金等調整前四半期純利益	1,250,537
法人税、住民税及び事業税	365,994
法人税等調整額	72,820
法人税等合計	438,815
少数株主損益調整前四半期純利益	811,722
少数株主利益	0
四半期純利益	811,721

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	811,722
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	165
その他の包括利益合計	165
四半期包括利益	811,556
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	811,556
少数株主に係る四半期包括利益	0

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
減価償却費	5,000千円

(株主資本等関係)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

平成27年3月25日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しました。上場にあたり、平成27年3月24日付で、2,031,360千円の公募増資の払込みを受けました。また、当第1四半期連結累計期間において50千株の新株予約権の行使が行われました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が1,015,705千円、資本準備金が1,015,705千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が2,475,712千円、資本剰余金が2,465,712千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、オンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	27円32銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	811,721
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	811,721
普通株式の期中平均株式数(株)	29,709,388
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	25円14銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額(千円)	
普通株式増加数(株)	2,582,800
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	

(注) 当社株式は平成27年3月25日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しております。潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の計算においては、新規上場日から当第1四半期連結累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(重要な後発事象)

第三者割当増資

当社は、平成27年2月19日の取締役会において、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、野村證券株式会社が当社株主である椎葉忠志氏より借り入れる当社普通株式の返還に必要な株式を取得させるため、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式発行を決議し、実施いたしました。その概要は以下の通りであります。

1. 募集株式の種類及び数当社普通株式 840,000株
2. 払込金額 1株当たり846.40円 払込金額の総額 710,976千円
3. 申込期日 平成27年4月20日(月曜日)
4. 払込期日 平成27年4月21日(火曜日)
5. 増加する資本金及び資本準備金に関する事項
増加する資本金 355,488千円(1株につき 423.20円)
増加する資本準備金 355,488千円(1株につき 423.20円)

6. 割当方法

割当価格で野村證券株式会社に割当てる。なお、割当価格が募集株式の払込金額を下回る場合は、この募集株式発行を中止する。

7. 割当価格 1株当たり920円 割当価格の総額 772,800千円
8. 申込株数単位 100株
9. 資金の用途

MMOジャンルの新規ゲームのコンテンツ開発費及び運営費、並びに広告宣伝費として充当する。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年5月15日

株式会社Aiming
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	山本 守	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	加藤 雅之	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社Aimingの平成27年1月1日から平成27年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成27年1月1日から平成27年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成27年1月1日から平成27年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社Aiming及び連結子会社の平成27年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。